

将来像

一 緑園に輝くー みんなで創る 文教・安心・交流のまち 多久



多久市が目指す「まちづくり」とは？

多久市の特性・資源を最大限に活かしながら、すべての市民が力を合わせて“私のふるさと”として自信を持って誇れるまちを創造し、『緑園』（盆地の立地で周囲を緑豊かな環境に囲まれ、緑の庭園のイメージにふさわしい環境）の中で、孔子の教えをシンボルとした教育や心豊かな思いやりを育むまち、という想いを込め多久市の将来像を定めました。

将来像実現のための 4 つの基本目標

1. 人と文化が輝く 孔子の里・文教のまち 多久
2. 人と自然にやさしい安心・安全のまち 多久
3. いきいきと交流・定住するまち 多久
4. 地域協働で楽しく持続可能なまち 多久

History

5年間の取り組みで変わったこと

平成23年に第4次多久市総合計画を策定し、将来像の実現に向け、前期基本計画（平成23～27年度）に基づき各種施策を計画的に推進してきました。

具体的な成果としては、小中一貫教育の導入、多久市まちづくり交流センター（あいぱれっと）の整備、中央公園東住宅団地の整備、また、子どもの医療費の助成範囲を18歳まで拡大したことなど、さまざまな改革改善が挙げられます。

計画期間 10年間

前期

平成23年度スタート！

平成23年度

- 多久翁さん「多久市観光公使」就任
- フードウェイスーパーセンター多久店オープン

平成24年度

- 多久市で佐賀県総合防災訓練
- 宮城県南三陸町佐藤町長講演会

平成25年度

- 小中一貫校を市内全校で開校

平成26年度

- 多久市市政施行60周年
- 「あいぱれっと」オープン
- 女山トンネル工事着手（平成29年度開通予定）

平成27年度

- 医療費助成満18歳まで拡大
- 放課後児童クラブ小学6年生まで受入
- 中央公園東住宅団地販売開始

後期

平成28年度～32年度



▲あいぱれっとオープン



▲放課後児童クラブ



▲中央公園東住宅団地



▲女山トンネル工事着手



▲小中一貫校開校

第4次後期基本計画 多久市総合計画

多久の新しい
まちづくり計画が
スタートします！